

令和5年生駒市教育委員会第12回定例会会議録

1 日 時 令和5年12月25日(月) 午後1時30分～午後2時15分

2 場 所 生駒市役所 大会議室

3 審査事項

- (1) 報告第18号 臨時代理につき承認を求めることについて(令和5年生駒市議会第5回(12月)定例会提出議案の意見について)
- (2) 報告第19号 令和6年二十歳のつどいの開催について
- (3) 議案第28号 幼稚園教諭・保育士人事異動方針について
- (4) 議案第25号 壱分幼稚園の認定こども園整備に関する基本計画の策定について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	神 澤 創
委 員	レイノルズあい	委 員	伊 藤 智 子
委 員	古 島 尚 弥	委 員	中 川 義 三
委 員	吉 尾 典 子		

5 事務局職員出席者

教育こども部長	鋤 田 明 年	教育こども部次長	松 田 悟
教育総務課長	山 本 英 樹	教育総務課課長	松 本 芳 樹
教育指導課長	花 山 浩 一	幼保こども園課長	大 畑 勝 士
幼保こども園課指導主事	喜 多 美 枝 子	こども総務課長	武 元 一 真
子育て支援総合センター所長	角 井 智 穂	生涯学習課長	清 水 紀 子
図書館長	西 野 貴 子	図書館課課長	錦 好 見
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	桐 坂 昇 司
教育指導課課長補佐	中 田 博 久	教育政策室長	日 高 興 人
幼保こども園課課長補佐	小 林 奈 津 子	こどもサポートセンター所長	若 狹 美 登 里
生涯学習課課長補佐	井 川 啓 一 郎	図書館南分館長	谷 江 真 美 子
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	教育総務課(書記)	佐 竹 裕 介
教育総務課(書記)	吉 川 優 香		

6 傍聴者 2名

午後１時３０分 開会

○開会宣告

○日程第１ 前回会議録の承認

○日程第２ 教育長報告

○日程第３ 報告第１８号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和５年生駒市議会第５回（１２月）定例会提出議案の意見について）

・臨時代理につき承認を求めることについて（令和５年生駒市議会第５回（１２月）定例会提出議案の意見について）、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書 p 1～2>

（質疑）

伊藤委員：給食費無償化の期間だけもう１度教えてほしい。

山本課長：令和６年１月から３月の３か月分である。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第４ 報告第１９号 令和６年二十歳のつどいの開催について

・令和６年二十歳のつどいの開催について、清水生涯学習課長から説明

<参照：議案書 p 3～4>

（質疑）なし

審議結果 【報告のとおり承認】

議案第２８号 幼稚園教諭・保育士人事異動方針について

・幼稚園教諭・保育士人事異動方針について、大畑幼保こども園課長から説明

<参照：議案書 p 5～6>

（質疑）

飯島委員：議案書６ページ（２）の管理職への登用について、小中学校では管理職の希望者が少ないことが課題であるが、幼稚園・保育園ではどうか。

喜多指導主事：保育園では、現在管理職試験に合格している主幹保育士が９名いる。来年度は役職定年に伴い、その中から３名が管理職になる。そのため、管理職になる資格を持つ主幹が６名いる状態となる予定である。幼稚園については、具体的な数字が今すぐに分からないが、欠員等なく運営できていると聞いている。

吉尾委員：幼稚園・保育園には、小中学校でいう「学びのサポーター」のような制度はあるか。

喜多指導主事：保育園では、子どもたちの状況によって加配保育士を配置している。

吉尾委員：学びのサポーターとは、大学生が会計年度任用職員として働いている制度である。他市との意見交換の際に、生駒市の学びのサポーターの取組が非常に評価された。私自身、この取組で教員に興味を持つ学生が増えれば良いなと思っている。幼稚園・保育園では学生が働く制度はあるか。

喜多指導主事：各園で学生ボランティアの依頼があれば、受け入れるようにしている。今年度は南こども園で依頼があったので受けた。

吉尾委員：大学への声掛けも積極的に行えると良い。新規採用の人数は足りているか。

喜多指導主事：今年度は7名の採用があった。内訳は、社会人枠が3名と新卒枠が4名である。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第5 議案第25号 壱分幼稚園の認定こども園整備に関する基本計画の策定について

・壱分幼稚園の認定こども園整備に関する基本計画の策定について、大畑幼保こども園課長から説明

＜参照：議案書p7～12＞

（質疑）

飯島委員：午前中の意見を速やかに反映いただきありがたい。保護者への説明は今後とも丁寧に取り組んでほしい。

吉尾委員：関係者の方々の手に届くとさらに色々な意見が出るかと思う。信頼関係が大切であるので、1つ1つ丁寧に説明してほしい。何事においても1年目というのは、1番難しく重要になる。工事の始まりや保育の始まり等、1年目を大切に取り組んでほしい。

原井教育長：保護者の方々が懸念するようなデメリットをどのように解消していくかという点について、丁寧に記載した。吉尾委員がおっしゃったように、丁寧に話を聞く姿勢を大切にしたい。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第6 その他

・令和6年1月行事予定について、山本教育総務課長、清水生涯学習課長から説明
（質疑）なし

・教育委員挨拶

神澤委員：私が就任したときに、教育委員の定員が8人になった。生駒市が教育に力を入れているということを象徴しているようで、画期的だと思った。これ

から不登校の取組をしていくタイミングで退任となるのは残念だ。教員免許もなく、教育の専門家かどうか分からない中で、自分の専門の範囲で取り組んできた。全ての市民に対して、教育委員会がどのような教育を提供していくのかというのが一番大きなテーマである。これからは残る4名で発展していただくことを心より祈念している。

伊藤委員：保護者委員として就任してから、4年間が経った。短かったようで長くも感じるのは、就任した当初から今とで別人になっているからだと思う。私のバックグラウンドは元々市民運動や社会教育であり、大きな組織の内部で働く経験があまりなかったためご迷惑をおかけすることもあったかと思う。社会教育の経験者の側面を活かすことができればと思い、良い方向へ何か取り組めないか悩み続けた4年間だった。他方で、私自身がこの4年間で本当に多くのことを教えていただいた。携わることで現場、現実を学ぶことができ、違う立場の人々への想像力と理解を広げることができると実感させていただいた4年間だった。私もそうだったが、それぞれが限られた領域でしか社会経験が持てない現実があり自分の職場と家庭の往復という形で生きていけば、見えないことがたくさんある。保護者委員というのは、少し据わりが悪いと感じていた部分があったので、教育委員の定数が減ることで保護者委員の数も減ってしまうことは仕方がない面もあると感じているが、今後も様々な形で保護者が教育現場の現実に触れることができる接点や機会を増やして欲しいと願っている。

古島委員：保護者委員でありながら、小学校の育友会の会長の経験や現役高校教諭として、これまで自分が経験してきたことを少しでも生駒市に還元したいという思いで務めてきた。4年間で特に印象的なのは、コロナウイルス禍での教育活動で、生駒市は全国に先駆けてICT化が進んだのではないかとと思う。自身の務める高校がICTを用いた学びを進めていたからこそ、少しでも貢献できて良かったと思う。私は高校教諭でありながら、教職大学院で学生もしている。教員は学び続けていくことが大切であると思っており、教員をしながらでも学べるということを今後も自分自身で体現していきたい。働き方改革と両立するのは難しいが、生駒市の教員にも学びを続ける環境を整えたい。教育委員という立場ではなくなるが、今後とも協力したい。

原井教育長：神澤委員には8年間務めていただいた。専門である臨床心理士として、自ら学校に出向き、引きこもりや自殺等の課題に尽力いただいた。支援が必要な子どもたちや保護者を救いたいという熱い思いを持って、様々なご指導をいただいた。伊藤委員には4年間務めていただいた。毎年の学校訪問にはほとんど全てにご参加いただき、時には厳しくまた良いところは褒めていただき、学校現場の管理職や職員にとって非常に大きな励みになったと聞いている。現場でも会議内でも、具体的な提案を多くしていただいた

ことで、学校を変えていくことに繋がったと思う。また、学校だけでなく地域にも足を運び、放課後子ども教室の運営等も中心となって進めていただき、そこでの声を教育委員会に繋げていただいた。古島委員には4年間務めていただいた。ご自身の経験から、ICT教育の改革や若手職員の教育に尽力いただき、教員研修や働き方改革において、多くの意見を生駒市の政策に反映させていただいた。また、地域でのスポーツ活動や外国人活動等でこれまでの経験や知見から、生涯学習の分野においてもご活躍いただいた。3名の在任中には新型コロナウイルス感染症が拡大しており、1人1台タブレット端末の配布や学校の再編、教育大綱の改訂等、教育の流れが大きく変化する時期であった。このような生駒市教育委員会の方向性を決めていかないといけない重要な時期で、3名の委員のご活躍・ご指導により教育委員会としての責務を果たすことができたと思う。教育委員としては退任となるが、今後ともそれぞれの立場で、側面的にご支援ご指導いただけること望む。また、今後益々それぞれの分野でご活躍されることを祈る。

○閉会宣告

午後2時15分 閉会